

### 2001年第18週報告分

- ・発生動向総覧／調査票通信／保健所通信
- ・全数届出患者数一覧表
- ・定点報告疾患集計表
- ・疾病別グラフ
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表

### 2001年4月報告分

- ・発生動向総覧／調査票通信
- ・疾病別グラフ
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表
- ・医療圏別累計表

### 感染症豆知識

- ・インフルエンザ

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/

**(全数情報)**

- ・細菌性赤痢は1件で、インドでの感染が推定されている。菌型はフレキシネリである。
- ・腸チフスは1件で、インドネシアでの感染が推定されている。
- ・パラチフスの報告が1件あり、インドでの感染が推定されている。同行者が1名おり、現在調査中である。
- ・アメーバ赤痢の報告が1件あり、感染地域・感染経路は不明である。
- ・急性ウイルス性肝炎の報告は6件あった。A型は3件でいずれも国内感染が疑われている。そのうち1件はアワビからの感染が疑われている。B型は1件で、異性間性的接触による感染が疑われている。C型は2件で、異性間性的接触が推定される1件と、感染経路不明が1件であった。
- ・HIV感染症の報告は4件で、無症候性キャリアが3件、AIDSが1件であった。男性3件、女性1件で、異性間性的接触は3件、同性間性的接触は1件であった。
- ・梅毒の報告が3件あった。

(推定される感染地域は、医師の届出によるものです。)

**(定点情報)**

連休を反映してほとんどの疾患の報告数が減少している中で咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は横ばいである。

**(病原体情報)**

- ・検査定点から搬入されたMRSA9株はコアグラ - ゼ 型が3株とコアグラ - ゼ 型が6株で、溶血性レンサ球菌5株のT型は4型2株、1型2株、12型1株であった。
- ・咽頭炎患者の咽頭拭い液から麻疹ウイルスが検出されたが、数日前に麻疹ワクチンの接種を受けている。
- ・上気道炎、胃腸炎の患者の咽頭拭い液と便計8件からそれぞれアデノウイルスが検出されている。
- ・インフルエンザ、上・下気道炎などの患者の咽頭拭い液17件からインフルエンザウイルスは検出されていない。
- ・感染性胃腸炎集団発生の検体は搬入されていない。

**(その他の情報)**

第18週は上下気道炎の検体が約50%を占め、その他に脳神経疾患、胃腸炎、発疹性疾患などの検体が搬入されている。

## 調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

今週定点医療機関からのコメントはありません。

## 保健所通信

区・都保健所からのコメントを掲載

今週区・都保健所からのコメントはありません。

## 全数届出患者数一覧表 2001年18週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		15週	16週	17週	18週	18週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ					
	細菌性赤痢	3	2	3	1	12
	腸チフス		3	2	1	2
	パラチフス			1	1	1
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	2	3		15
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	2	1		1	
	エキノコックス症					
	黄熱					
	オウム病					
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	4	4	1	6	5
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					
	後天性免疫不全症候群	9	8	11	4	
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	4		2		1
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					2
	デング熱			1		
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	1	1	1	3	5
	破傷風					1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			
	ハンタウイルス肺症候群					
Bウイルス病						
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア						
ライム病						
レジオネラ症			1		1	

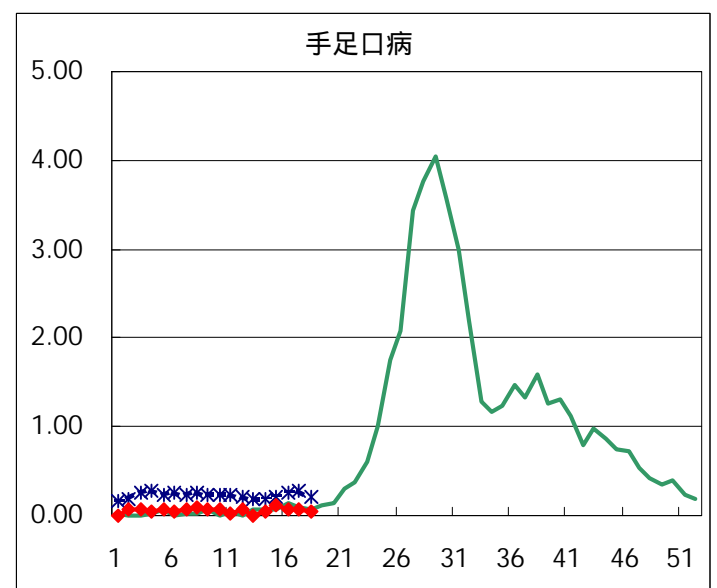
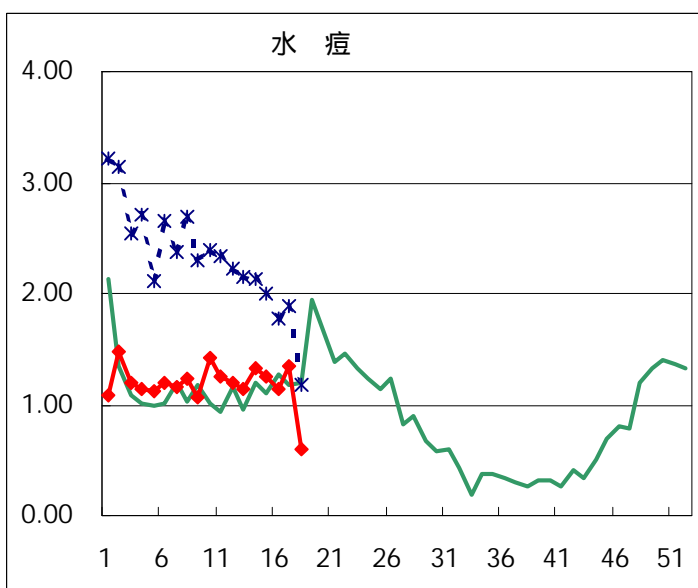
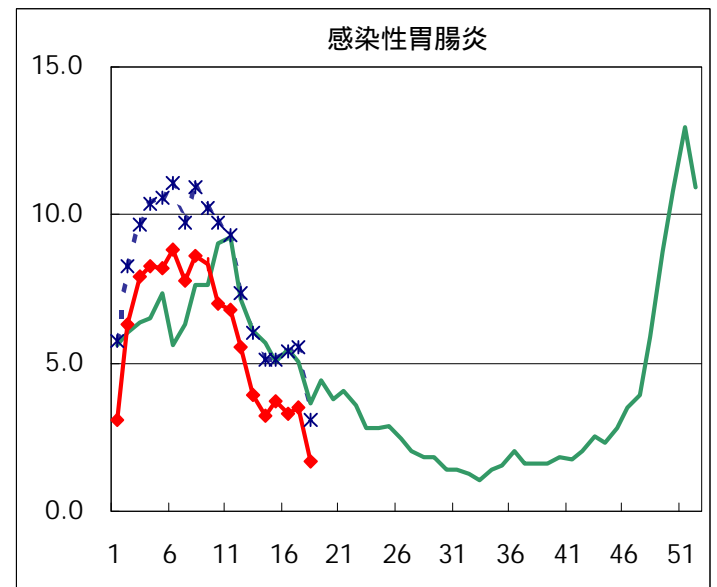
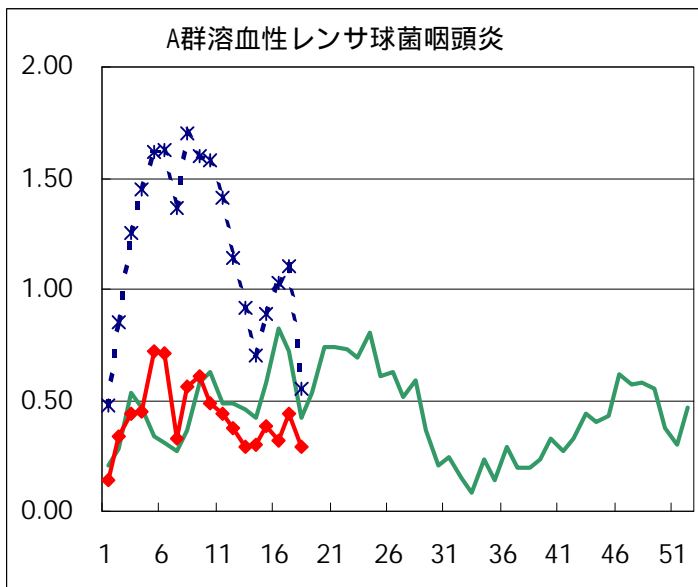
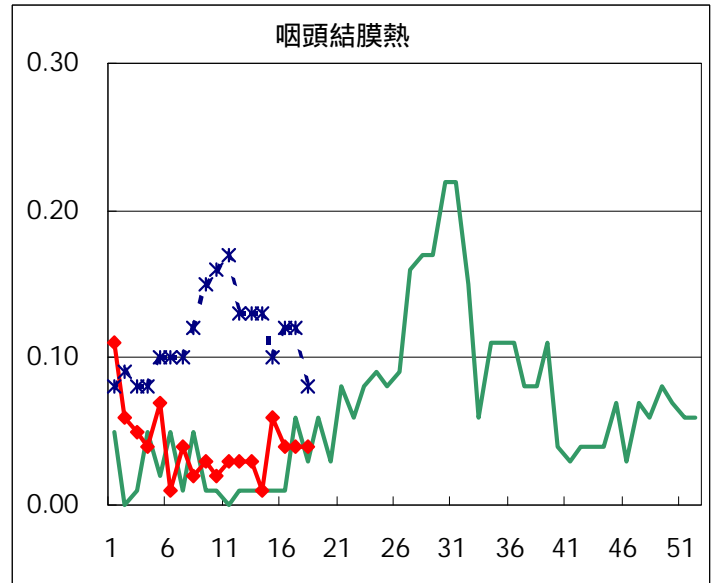
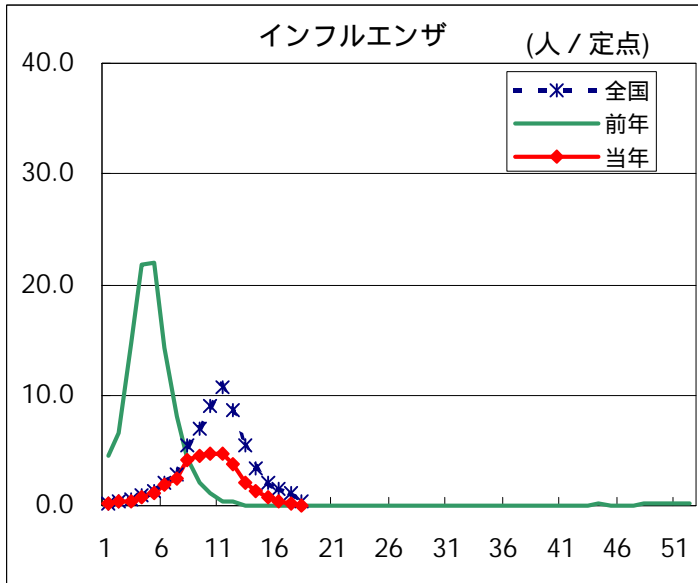
東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/05/09集計)

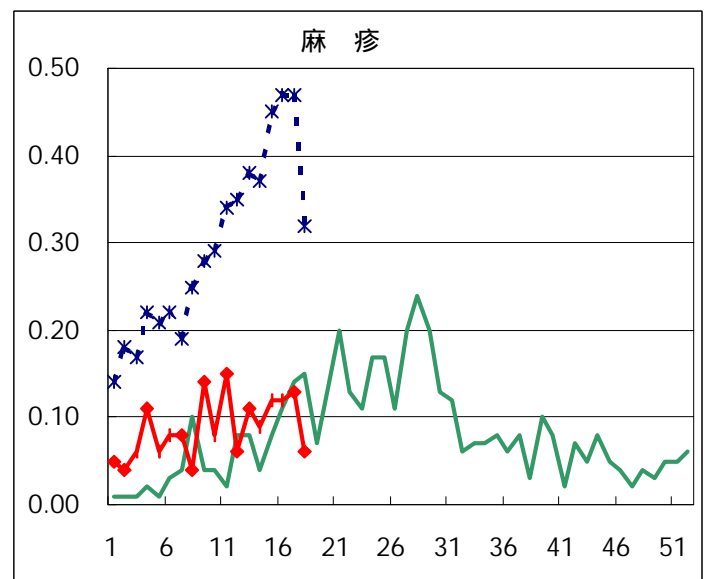
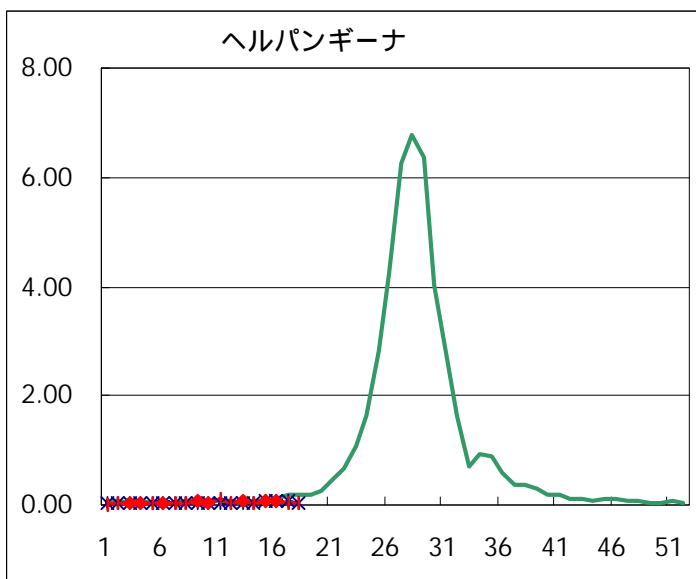
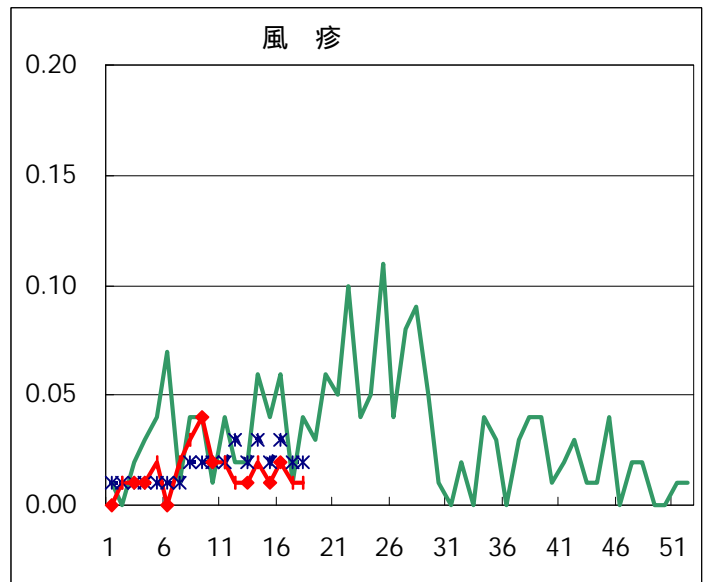
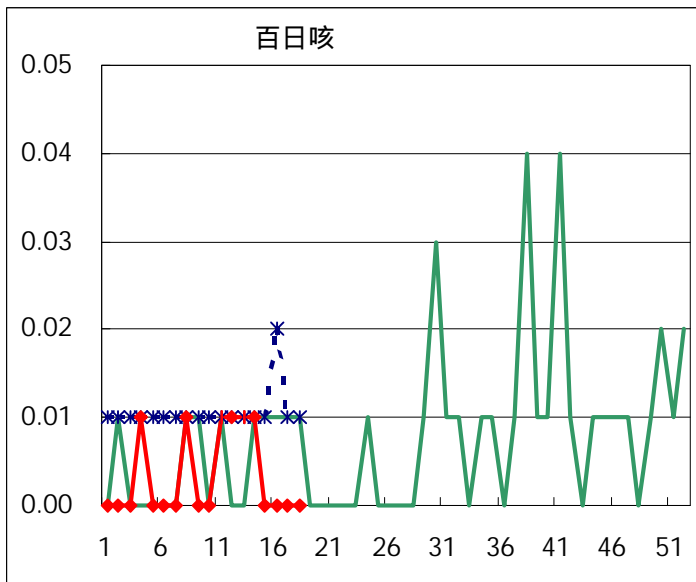
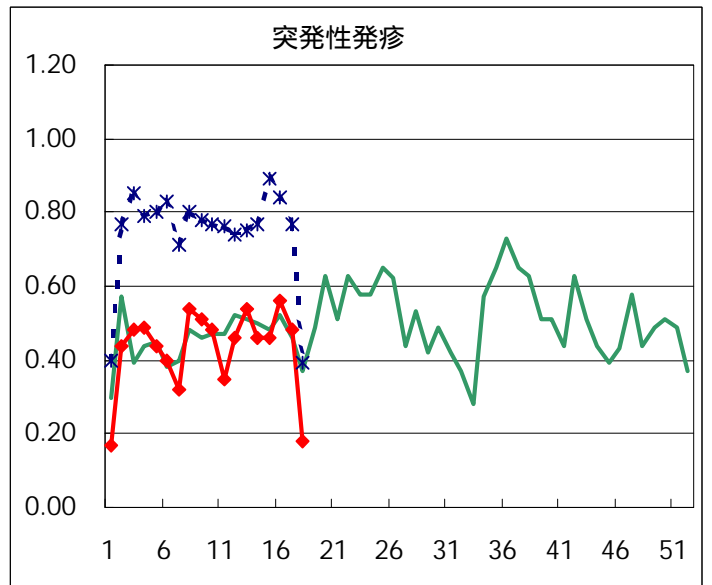
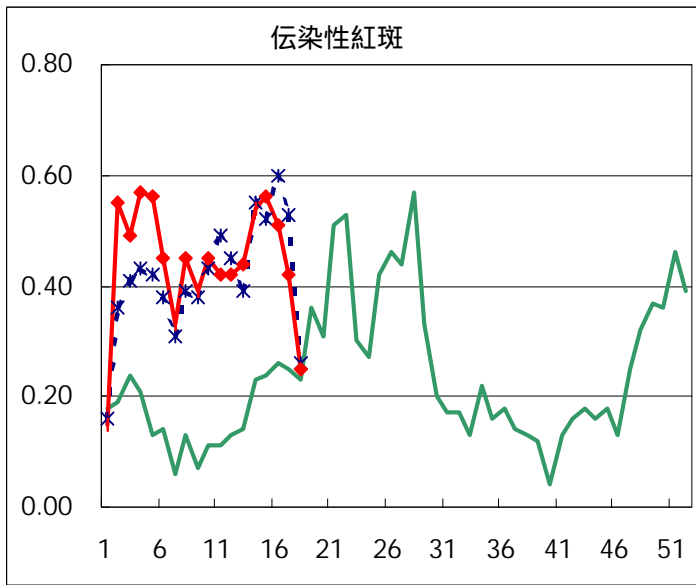
## 定点報告疾病集計表（男女別）

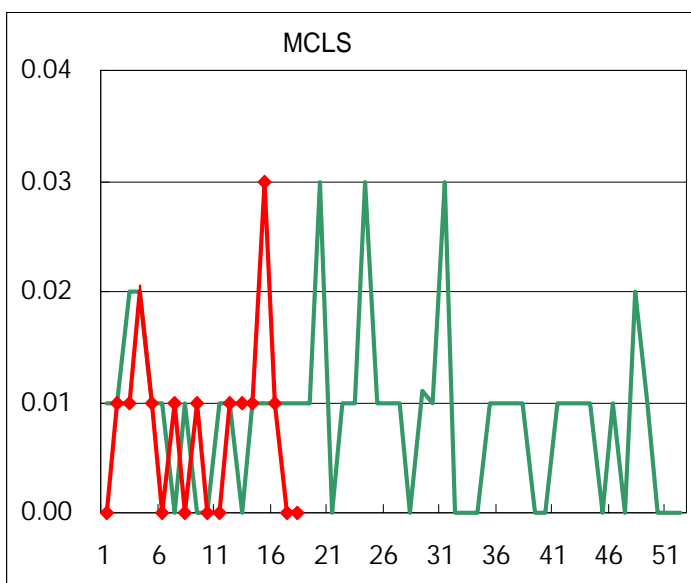
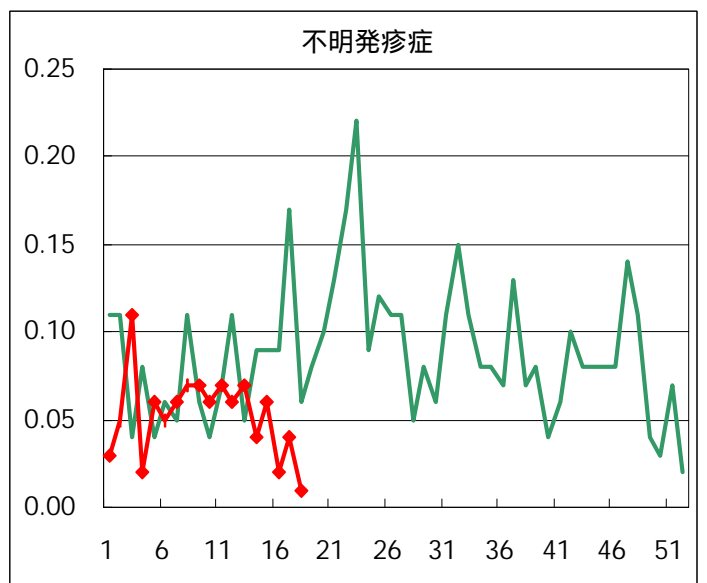
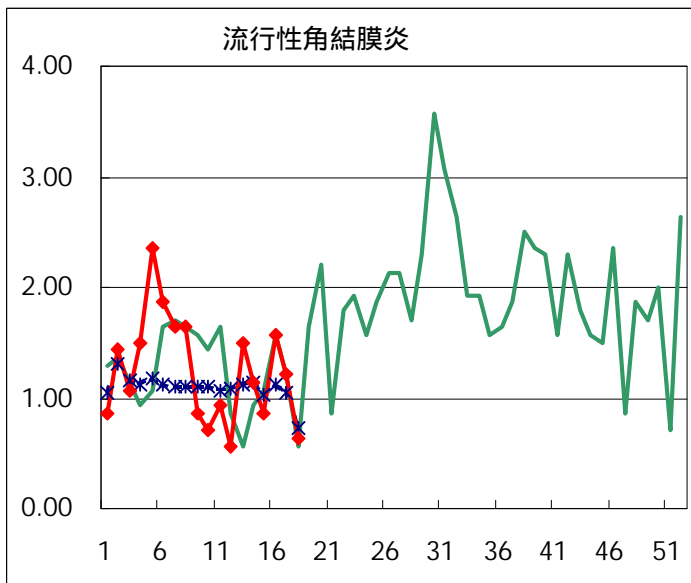
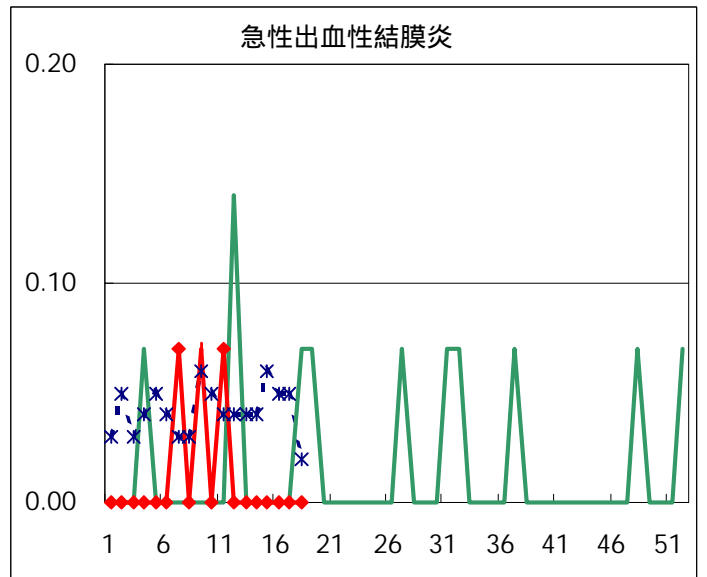
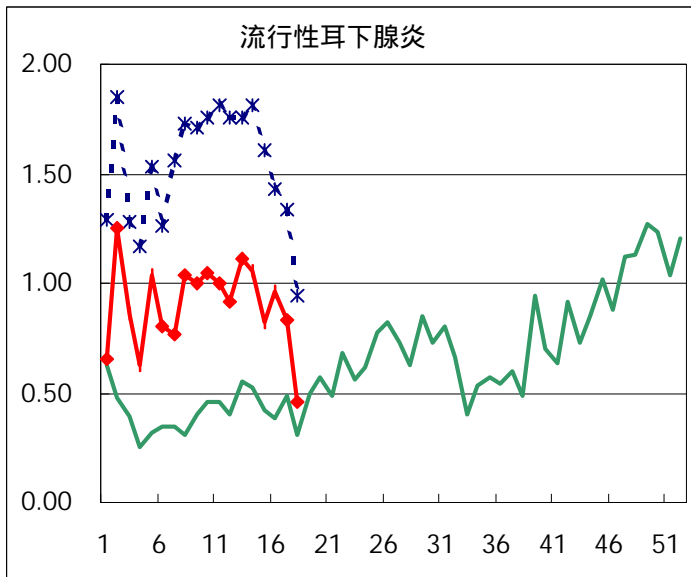
疾病名	性	2001年 週				累計
		15	16	17	18	
インフルエンザ	男	59	30	24	6	119
	女	67	41	23	8	139
咽頭結膜熱	男	4	1	2	3	10
	女	5	4	4	2	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	28	22	34	19	103
	女	26	24	29	22	101
感染性胃腸炎	男	284	236	257	115	892
	女	249	233	238	126	846
水痘	男	90	89	94	39	312
	女	89	73	96	45	303
手足口病	男	9	5	5	4	23
	女	8	7	4	3	22
伝染性紅斑	男	49	33	38	20	140
	女	30	40	21	16	107
突発性発疹	男	36	42	40	12	130
	女	30	37	28	13	108
百日咳	男					
	女					
風疹	男	1	3	1		5
	女				1	1
ヘルパンギーナ	男	6	6	5	3	20
	女	2	3	1	1	7
麻疹(成人以外)	男	10	11	8	3	32
	女	7	6	10	6	29
流行性耳下腺炎	男	62	69	66	31	228
	女	55	68	52	35	210
不明発疹症	男	5	1	3	1	10
	女	4	2	3		9
MCLS	男	4	2			6
	女					
急性出血性結膜炎	男					
	女					
流行性角結膜炎	男	8	10	9	4	31
	女	4	12	8	5	29
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女			1		1
無菌性髄膜炎	男		1			1
	女			1		1
マイコプラズマ肺炎	男					
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	5				5
	女	2		3		5

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

# 疾病別グラフ

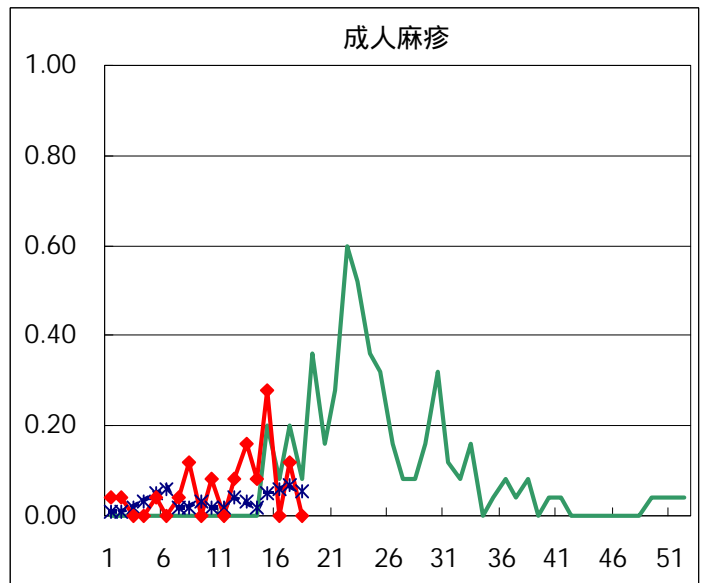
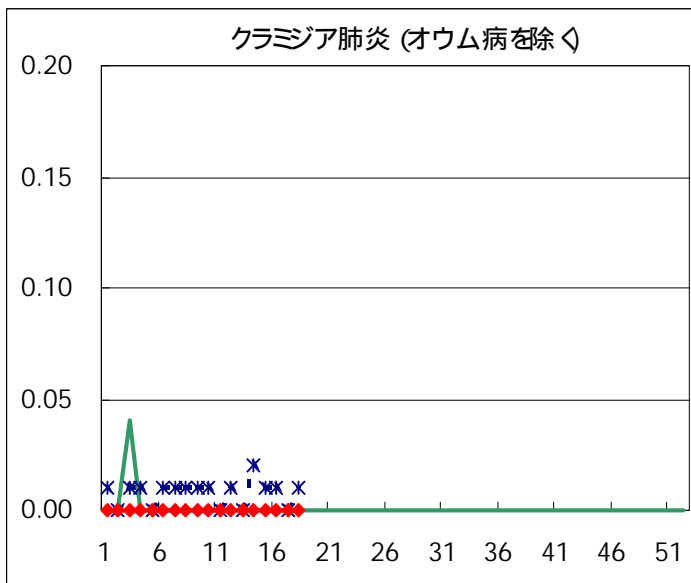
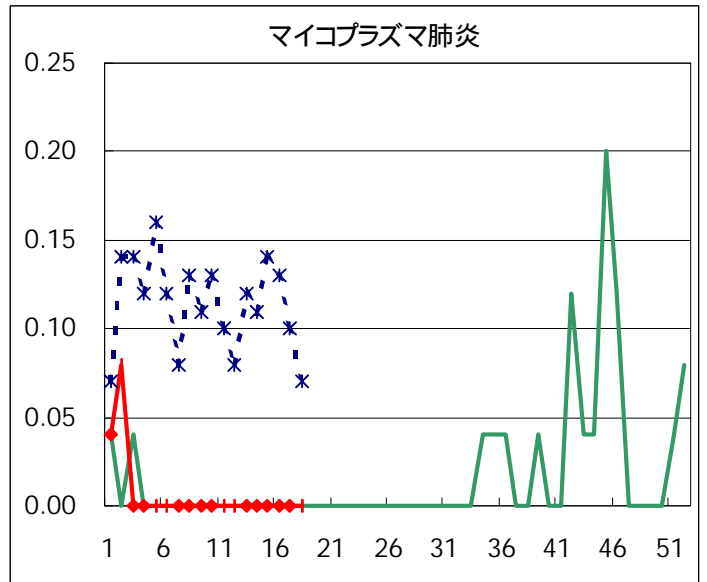
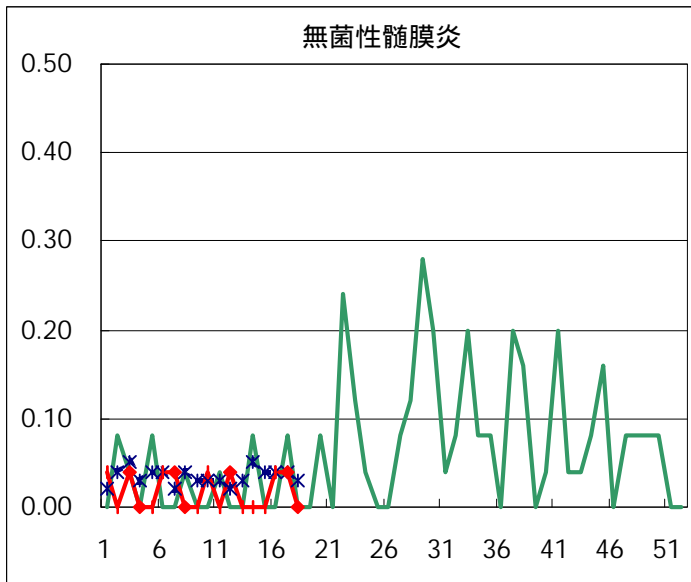
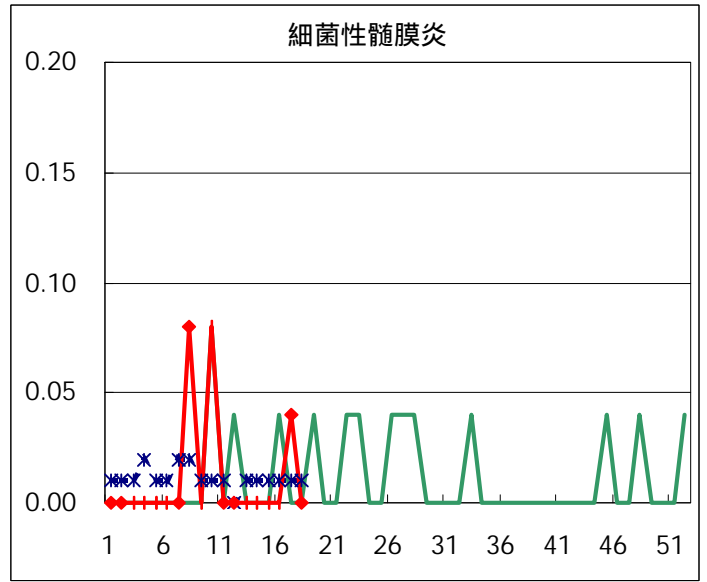
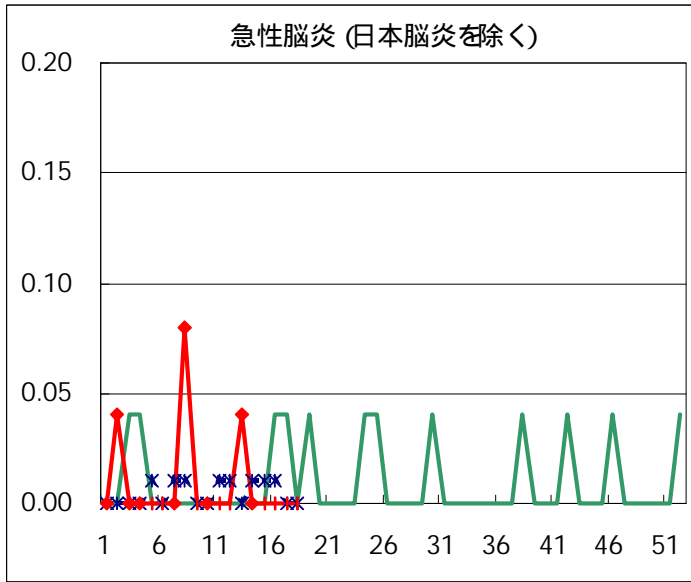






疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	





年齢階級別累計表 (2001年 18週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月				5	4			7									
～1歳				16	2	1	1	15									
1歳				24	19	1	1	3				1	3		1	1	
2歳	1	1		30	17	2	3				1		3				
3歳		1	6	22	17	2	9						5		1		
4歳	1	1	1	19	10		4				2	1	11				
5歳		1	7	26	4		2				1	2	11				
6歳			9	18	2	1	7						10				
7歳	1		3	12	5		5					2	8				
8歳	1		4	9	2		2						4				
9歳			1	3			1			1			1				
10～14歳	1	1	3	15	2							2	6				
15～19歳	1		2	4													
20～29歳	2		5	38			1					1	4		1		
30～39歳	3														3		
40～49歳	2														1		
50～59歳	1														1		
60～69歳															1		
70～79歳																	
80歳以上																	
合計	14	5	41	241	84	7	36	25	0	1	4	9	66	0	9	1	0
先週比	-33	-1	-22	-254	-106	-2	-23	-43	0	0	-2	-9	-52	0	-8	-5	0

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年18週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央					5													5
世田谷				28	3		5	2		1		1	4					44
渋谷区				12	1		3	1										17
池袋					1						2				1			4
長崎				2	3			1										6
荒川				2		2												4
足立				11	9		1	1					4					26
葛飾	4		1	1	3		4					2						15
江戸川				4	5		4						6			1		20
台東			7	7	1		2											17
目黒区		1	5	4	1			1										12
大田区	1		2	17	5		1	3					2					31
杉並	1		2	5	7								7					22
北区				1	3								3					7
板橋区				3				1										4
みなと													4					4
中野区				16	4	1	5					2						28
新宿区		3	1	15		1		1							8			29
品川区			1	9	1			2			1	2						16
千代田				4	2		1											7
練馬区	2		2	3	1	1	4	1					3					17
文京	2			9	1								2					14
墨田区			1	2	5		1						1					10
江東区			3	6	3			1										13

保健所別累計表 (2001年18週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子				2	1													3
町田	2		6	21	1						2	1	4					37
島しょ								1					6					7
多摩川	2		4	1	3			2				1	1					14
秋川			2	13	3		3	3										24
南多摩				16	2			1					5					24
多摩立川				6			2					1	3					12
村山大和																		
府中小金井					1								5					6
狛江調布				4	1	1							1					7
三鷹武蔵野				3	1								1					5
多摩小平		1	4	3	5	1		2										16
多摩東村山				11	2			1					2					16

東京都合計	14	5	41	241	84	7	36	25	-	1	4	9	66	-	9	1	-	543
定点当り報告数	0.08	0.04	0.29	1.70	0.59	0.05	0.25	0.18	-	0.01	0.03	0.06	0.46	-	0.64	0.01	-	

## 発生動向総覧（月報告分） 2001年4月分

### **（性感染症）**

性器クラミジア、尖形コンジローム、淋病様疾患、トリコモナスの患者報告数はいずれも前月に比べて増加しており、特にトリコモナスは1月から連続して増加している。一方、性器ヘルペス、梅毒様疾患の患者報告数は前月に比べて減少した。

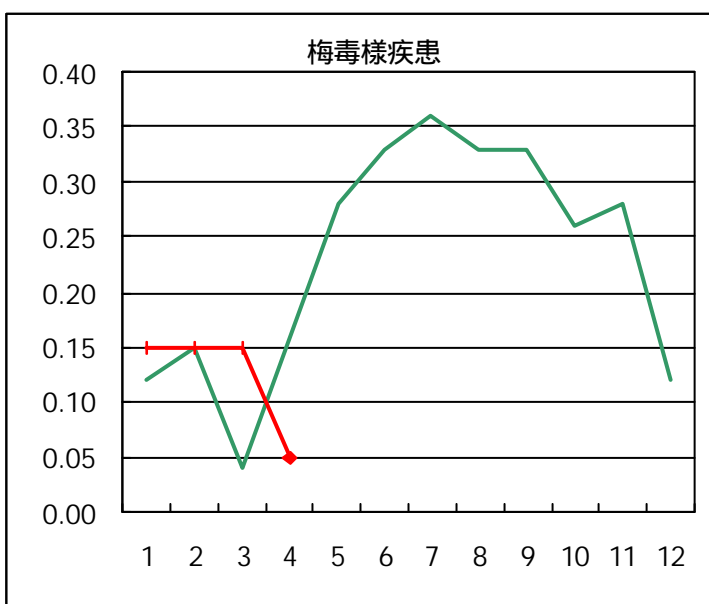
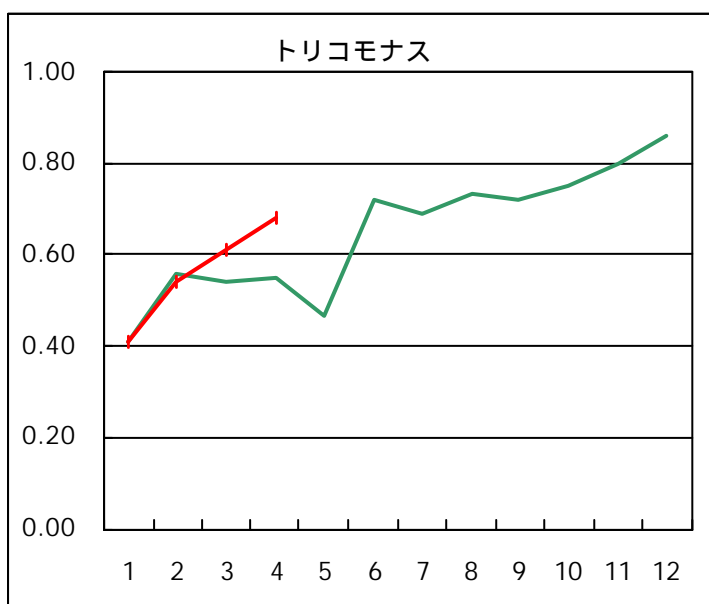
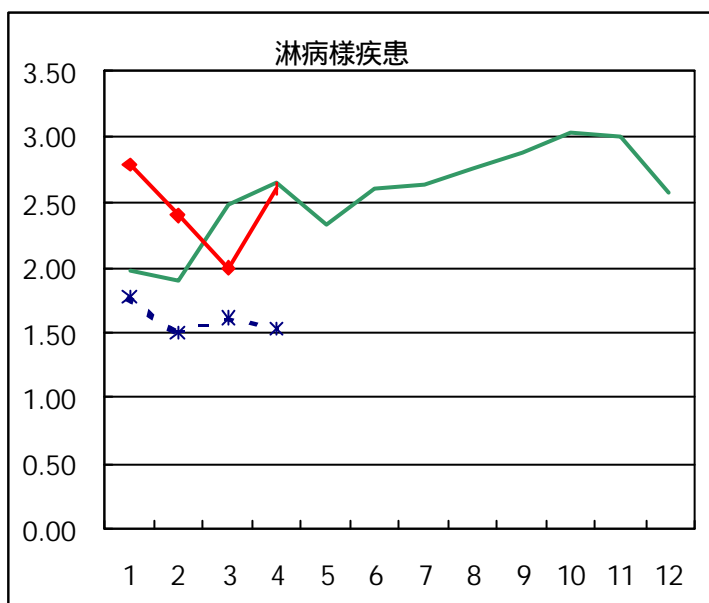
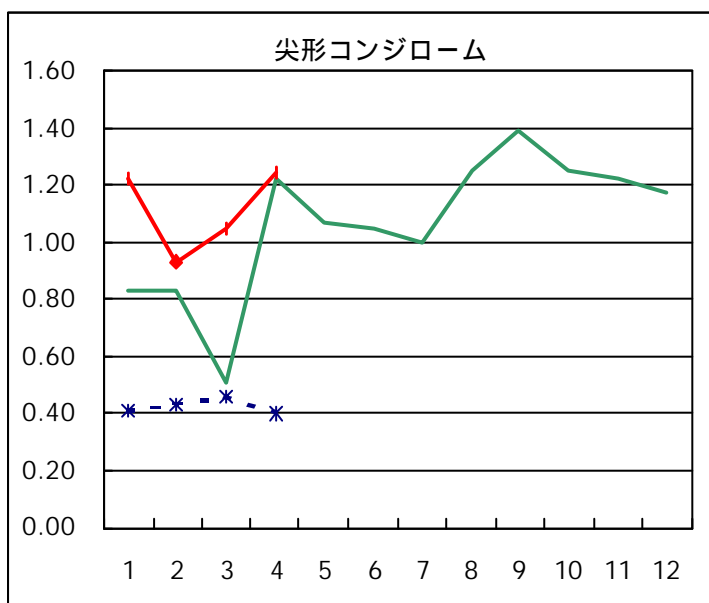
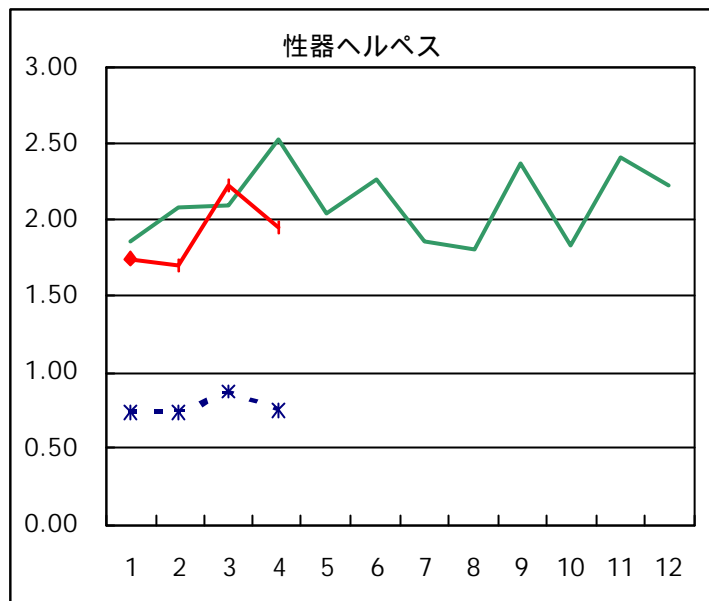
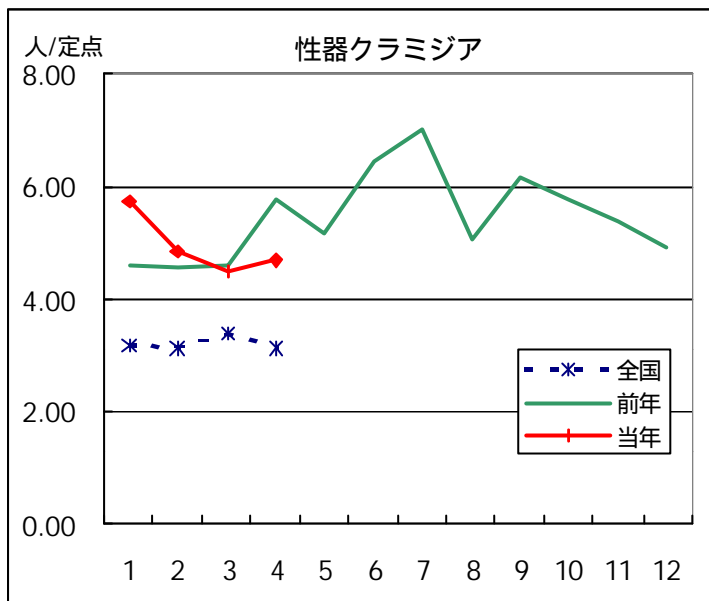
### **（基幹定点疾病）**

メシチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告数は前月に比べて減少した。一方、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告数は1月以来前年より少ない傾向が続いている。

## 調査票通信 定点医療機関からのコメントを掲載

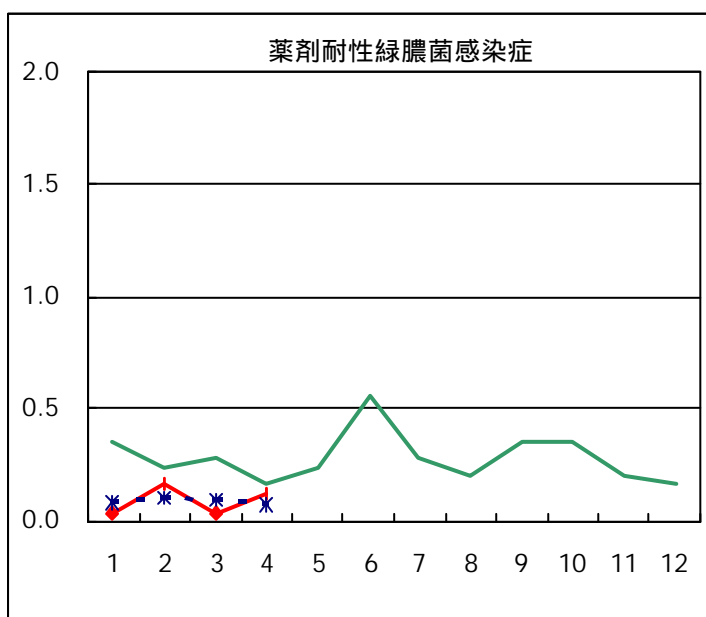
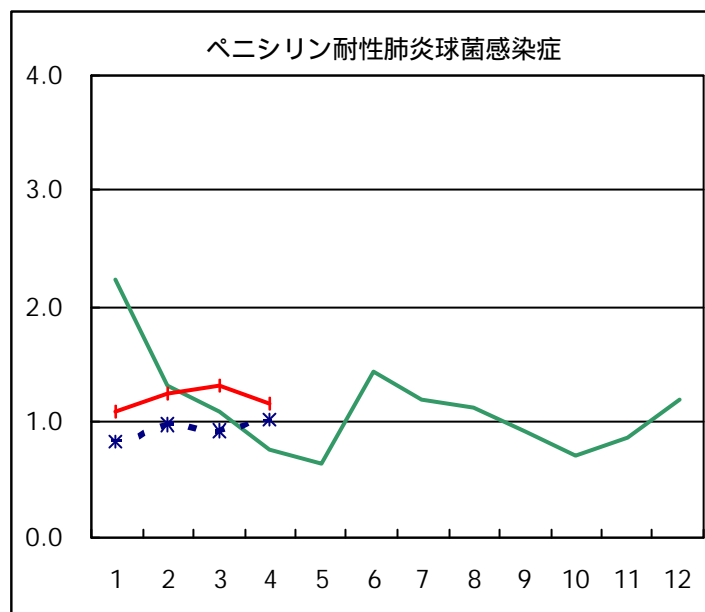
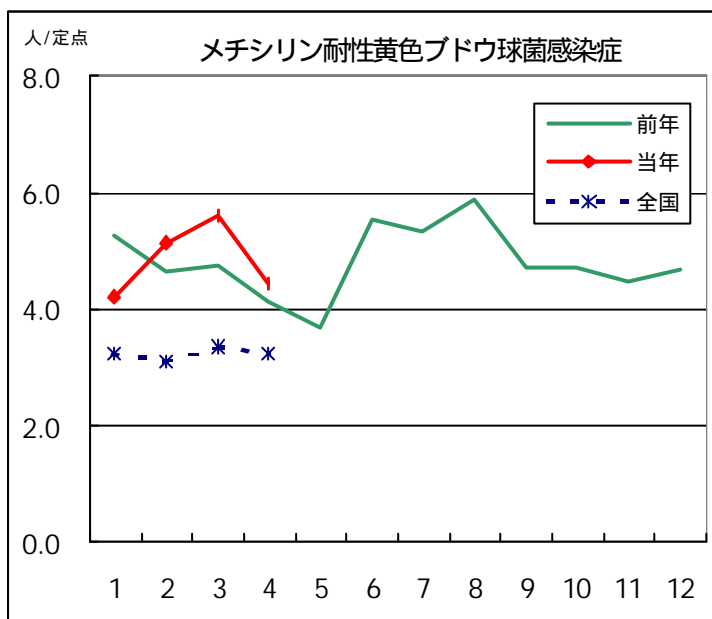
今月は、定点医療機関からのコメントはありません。

# 疾病別グラフ



基幹定点報告疾患集計（2001年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	105	129	140	111									485
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	27	31	33	29									120
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	4	1	3									9



疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
梅毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	

S T I 年齢階級別累計表 ( 4 月 )

男						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			3	2	4	2
20～24歳		1	15	2	6	12
25～29歳			24	2	8	23
30～34歳			18	9	3	14
35～39歳			15	11	2	17
40～44歳			4	6	3	13
45～49歳			8	2		6
50～54歳			4	4	1	2
55～59歳	1	1	1	3	1	1
60～64歳			2			2
65～69歳						
70～歳				1		
合計	1	2	94	42	28	92
先月数	1	2	109	39	25	66
増減数	0	0	-15	3	3	26

女						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1		21	1	5	
20～24歳	5		44	11	8	7
25～29歳	7		24	8	6	2
30～34歳	4		5	11	3	5
35～39歳	1		2	2		
40～44歳	3		1	1	1	
45～49歳	3					
50～54歳	2		1	3		1
55～59歳	1					
60～64歳				1		
65～69歳						
70～歳						
合計	27	0	98	38	23	15
先月数	24	4	75	52	18	16
増減数	3	-4	23	-14	5	-1



### S T I 保健所別累計表（4月）

男								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			3	3		5	11
渋谷区	3			6	1	1	5	13
池袋	3		2	27	5	8	5	47
荒川	1							
足立	1			2	1	1	4	8
台東	5				1		1	2
大田区	3							
北区	1							
板橋区	2			3			1	4
みなと	2	1		8	7	2	4	22
中野区	1			4	1	1		6
新宿区	5			12	6	6	18	42
品川区	1			2				2
文京	1							
墨田区	1			3	6	1	4	14
江東区	2			20	8	4	31	63
八王子	3							
町田	1							
多摩立川	2			1	1	2	9	13
三鷹武蔵野	1			3	2	2	5	12
総計	41	1	2	94	42	28	92	259
定点当り		0.02	0.05	2.29	1.02	0.68	2.24	6.32

女								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2							
渋谷区	3				1			1
池袋	3	1		11	3	4	1	20
荒川	1			2	2			4
足立	1				1			1
台東	5	19		27	14	2	3	65
大田区	3			1	1			2
北区	1							
板橋区	2					1		1
みなと	2	3		12	4	6	2	27
中野区	1							
新宿区	5	4		20	6	9	4	43
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1							
江東区	2			5			1	6
八王子	3			16		1		17
町田	1				2			2
多摩立川	2			3	2		4	9
三鷹武蔵野	1			1	2			3
総計	41	27		98	38	23	15	201
定点当り		0.66	0.00	2.39	0.93	0.56	0.37	4.90

STI保健所別定点当り累計表（4月）

男							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	ヘル コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2			1.50	1.50		2.50
渋谷区	3			2.00	0.33	0.33	1.67
池袋	3		0.67	9.00	1.67	2.67	1.67
荒川	1						
足立	1			2.00	1.00	1.00	4.00
台東	5				0.20		0.20
大田区	3						
北区	1						
板橋区	2			1.50			0.50
みなと	2	0.50		4.00	3.50	1.00	2.00
中野区	1			4.00	1.00	1.00	
新宿区	5			2.40	1.20	1.20	3.60
品川区	1			2.00			
文京	1						
墨田区	1			3.00	6.00	1.00	4.00
江東区	2			10.00	4.00	2.00	15.50
八王子	3						
町田	1						
多摩立川	2			0.50	0.50	1.00	4.50
三鷹武蔵野	1			3.00	2.00	2.00	5.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	ヘル コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2						
渋谷区	3				0.33		
池袋	3	0.33		3.67	1.00	1.33	0.33
荒川	1			2.00	2.00		
足立	1				1.00		
台東	5	3.80		5.40	2.80	0.40	0.60
大田区	3			0.33	0.33		
北区	1						
板橋区	2					0.50	
みなと	2	1.50		6.00	2.00	3.00	1.00
中野区	1						
新宿区	5	0.80		4.00	1.20	1.80	0.80
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1						
江東区	2			2.50			0.50
八王子	3			5.33		0.33	
町田	1				2.00		
多摩立川	2			1.50	1.00		2.00
三鷹武蔵野	1			1.00	2.00		

2次医療圏別累計表（平成13年4月） 総計 患者報告数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
区中央部	23		50	29	10	15	127
区南部			3	1			4
区西南部			6	2	1	5	14
区西部	4		36	13	16	22	91
区西北部	1	2	41	8	13	7	72
区東北部			4	4	1	4	13
区東部			28	14	5	36	83
西多摩							
南多摩			16	2	1		19
北多摩西部			4	3	2	13	22
北多摩南部			4	4	2	5	15
北多摩北部							
島しょ							
計	28	2	192	80	51	107	460

2次医療圏別累計表（平成13年4月） 総計 定点当たり発生数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	定点数
区中央部	2.09		4.55	2.64	0.91	1.36	11
区南部			0.75	0.25			4
区西南部			2.00	0.67	0.33	1.67	3
区西部	0.67		6.00	2.17	2.67	3.67	6
区西北部	0.17	0.33	6.83	1.33	2.17	1.17	6
区東北部			2.00	2.00	0.50	2.00	2
区東部			14.00	7.00	2.50	18.00	2
西多摩							0
南多摩			4.00	0.50	0.25		4
北多摩西部			2.00	1.50	1.00	6.50	2
北多摩南部			4.00	4.00	2.00	5.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	0.68	0.05	4.68	1.95	1.24	2.61	41

< 感染症豆知識 >

## インフルエンザ

東京都医師会感染症予防検討委員会

感染症発生動向調査では全国約 3,000 の小児科と約 2,000 の内科、計約 5,000 定点からインフルエンザ患者発生数が毎週報告されている。2000 / 01 シーズンのインフルエンザ患者報告数は立ち上がりが遅く、2001 年第 5 週に初めて定点当たり 1 人を超え、第 9 週 (2 / 26 ~ 3 / 4) 現在 31,796 人 (定点当たり 6.87 人) でまだピークとなっていない。

東京都の感染症発生動向調査でも、11 月 ~ 2 月までの累積患者報告数は 2,940 人で、前シーズン同期 18,834 人の 6 分の 1 以下である。

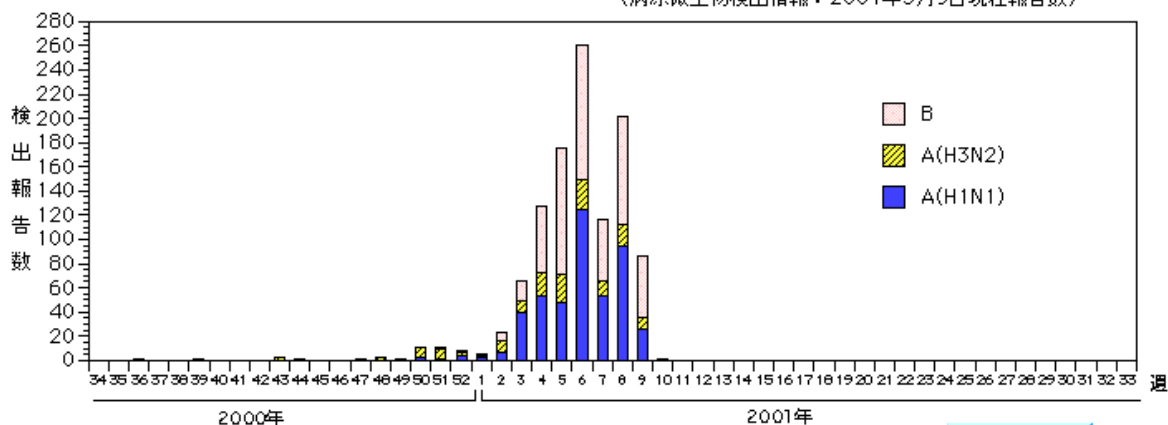
今シーズンの全国の衛研からのインフルエンザウイルス分離報告では、B 型が 490 件、A / ソ連 (H 1 N 1) 型が 458 件、A / 香港 (H 3 N 2) 型 154 件で B 型と A / ソ連 (H 1 N 1) 型の検出報告が増加している (2001 年 3 月 9 日現在) (図参照)。わが国の今シーズンのワクチンには A / ニューカレドニア / 20 / 99 (H 1 N 1) (I VR-116)、A / パナマ / 2007 / 99 (H 3 N 2) (NIB-41)、B / 山梨 / 1666 / 98 の 3 株が用いられている。

インフルエンザ最新情報は感染研感染症情報センターのホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/>) に掲載されている。

(文責 山下和予)

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報：2001年3月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

**IASR**

Infectious Agents Surveillance Report